

山田小学校 5・6年保健テレビ授業指導案

平成17年12月19日(月)  
 6年6人、5年2人 児童8名  
 担当 養護教諭 神原リカ子  
 11:35~12:20

1, 単元名 病気の予防

2, 本時のねらい

病気には、病原体が原因になっておこるものがあることを知り、その起こり方と予防の方法について理解することができる。

3, 本時の学習課程

学 習 活 動	時 間	センターの支援( )
1. 昨年の冬の欠席状況を見て、欠席者が多い原因を考える。 質問 今年になってかぜをひいた人はいますか? どんな状況でかぜをひいたか挙手	5	
2. かぜやインフルエンザはどんなときにひくのか、原因は何かを予想する。	10	
問題1 昔イギリスで、かぜがなぜ流行するか調べるために、次のような実験をしました 健康な大人数人をお風呂に入れて体を温めさせた後、体をふかない、室温5度の完全に消毒した無菌室に、寒さをがまんできるまでいてもらいました。この人たちの中には、しばらくすると、くしゃみや身ぶるいする人が出てきました。さてこの人達はかぜをひいたでしょうか。 予想 ア、全員かぜをひいた イ、一部かぜをひいた ウ、だれもかぜをひかなかった		
3. かぜやインフルエンザがどのようにうつるのかを考えて、予防法について話し合う。(2つのグループで) かぜやインフルエンザは、どのようにうつっていくのだろう。 同じウイルスでかかる人と、かからない人がいるのはなぜだろう。 うつらないようにするためにどうしたらよいだろう。	20	かぜやインフルエンザの正体についてセンターの先生に説明してもらう。 病原体が原因であることに気づかせたい。 かぜやインフルエンザについての説明をする。(冬にインフルエンザが流行するわけ) 身近な病原体をいくつか見せ、どんな病気の原因になるのかを紹介する。
4. まとめる。 病原体をなくす。 道すじを絶つ。 抵抗力を高める。 感染を防ぐ3つの方法を押さえる。	7	子どもたちの考えを基に、予防方法についてまとめる。
5. 授業の感想を発表する。	3	

